TOYOTA
5大陸走破
Africa 2018

04

Masvingo → Johannesburg

国境を越えて南アフリカへ

ジンバブエから国境へと向かう直線は、道路の舗装に使われている素材そのものの量が最低限ギリギリなのだろう。乾季には砂地に、雨季には泥になるような柔らかい地盤の上に貼り付けられているために、トラックが通るたびに道はたわみ、侵食され、端が削れていく。時に路肩と段差ができていて、危険にさえ感じられる。だが、ボーダーを越えて南アフリカへと入国するとその状況が一変する。経済状況がインフラに影響することに、メンバーの誰もが否応無く気付かされる。昨年一年間、ヨハネスブルグに駐在していたアフリカ部の麻生は慣れ親しんだ道を走りながら、今回の走破の意義をこう語ってくれた。

「アフリカにはどんなクルマが適しているのか、今まではカタログのスペックで判断していた部分が大きいんです。こうして競合車と乗り比べながら、クルマの性能について先輩たちに話を聞くことで、あのカスタマーが言っていたのは“この加速力のことか”って理解できるようになってきました。チームのメンバーみんなが先生なんですよね。最高の環境だと思っています」

アフリカに種を蒔いている時期なのだと麻生は言う。どうすれば現地のニーズを的確に捉えることができるのか。ジンバブエ、ボツワナを走った経験は、いつか大きな実りとなるだろうか。

アフリカに適したクルマとは？

「この道は 2000km ケープタウンまで続いている」という TSAM から参加しているマイケルの言葉の通り、大地に線を引くように真っ直ぐな直線が続いている。周囲にはサトウキビ畑があり、ハンティングのためにライオンをブリーディングしているフィールドがあり、延々と地平線が見えている。西アフリカから参加しているメンバーの運転技量の未熟さについて触れつつ、まっすぐ走ることの重要性を説くのは、凄腕技能養成部の関谷だった。

「きっと彼らの感覚が一般のカスタマーに近いと思うんです。運転に慣れていないから、ステアリングを急に切ってしまったり、目線が近くてフラフラしたり。これからアフリカでモータリゼーションが起こったら、彼らのようなレベルのドライバーたちが一気に増えるはず。でも、アフリカの道は、正直に言って危ない。平気で高速を横切る人がいるし、路肩に動物たちがたくさんいる。ポットホールだってたくさんあるのに、車速は高い。そのときにどんなクルマのセッティングが必要になるのか、考えながら走ってます」

ゴツゴツと悪路では疲労感の大きかったHILUXも、ステアリングや足回りのセッティングも含めて、南アフリカの良路では「まったく問題ない」と語った。

素性のいいクルマ

セッティングによって変化するクルマの“味”。そのベースとなるプラットフォームの開発に従事する CV 車両性能開発部の渥美は、冷静にメンバーたちの意見を聞きながら走破を続けていた。クルーガー国立公園内を 50kph でゆっくりと走行し、時折現れる動物たちに目を向けながら話を聞いた。

「素性のいいクルマという言い方を私たちはしますが、結局はベースが良くないとダメなんだと、アフリカの道を走って再確認しています。みんなからの運動性能や音、インテリアの使い勝手そ

れぞれの意見を聞いても、やっぱり安価で性能のいいベースを作ることが、これからのアフリカには必要だと感じています」

どこか原点に立ち返るような言葉。安易な答えには逃げられないから、ハッキリとした結論を出すことはできない。アフリカを走ったことによって得たのは、あるいは使命感のようなものかもしれない。知ってしまったからには、モヤモヤと頭の中でずっと考え続けてしまう。それが、渥美が走破によって得たものだろう。

知ったのは、アフリカの多様性

最終日、300km 強のハイウェイ走行を終えて、ヨハネスブルグの TSAM へとたどり着く。およそ1ヶ月に及ぶチーム1の走破は、アフリカらしい盛大な歓声と太鼓のリズムに包まれて終わった。スピーチでキャプテンの分銅が強調したのは、ローカルメンバーたちの存在の大きさについてだった。TSAMはもちろん、タンザニア、ザンビア、ジンバブエなどの東アフリカ以外にも、コンゴやコートジボワールからのメンバーたちもいた。彼らの協力こそが、無事に走破を終えることのできた大きな理由だと語る。

「One Team, One Heart, Africa」のスローガンは、むしろアフリカが多様性に富んでいることを示している。異なるからこそ、一つになる必要がある。東アフリカを縦断する走破によって学んだそれぞれの国の“違い”について、そしてアフリカのクルマの未来について、メンバーたちは夜遅くまで語り合っていた。

距離：1,352km
期間：2018.9.17-20
日数：4日間
車両：Fortuner、Land Cruiser 200、Hilux Double Cab、Land Cruiser 79 Double Cab、Land Cruiser Prado